

普及活動情勢報告（令和3年3月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

新規就農者の育成と産地の活性化を目指して！

～ピーマン部会が現地検討会を開催～



情報交換する参加者

3月17日、JA高知県土佐市ピーマン部会が現地検討会を開催し、生産者5人が参加しました。農業改良普及課は環境や生育等データの活用に向けた今年度の調査結果について説明しました。JAは労働力確保対策について情報提供しました。

新規就農者は、整枝方法や病虫害防除等栽培管理についてベテラン農家に積極的に質問してアドバイスを受たり、若手農家同士で情報交換しました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携して、新規就農者の育成と産地の活性化に向けて支援していきます。

土佐市地域の農福連携の強化に向けて！

～土佐市労働力確保対策PT会を開催～



PT会の様子

2月18日、JA高知県とさし、土佐市（農林業振興課、福祉事務所）、農業改良普及課等で構成する土佐市労働力確保対策PT会を、土佐市複合文化施設「つな一で」で開催しました。

今回のPT会には土佐市社会福祉協議会や高知県障害保健支援課等の関係機関にもオブザーバーとして参加してもらい、農福連携等について意見交換を行いました。これまでもPT会では農福連携について協議してきましたが、地域の農福連携について役割分担を行い、活動を強化していく事でこのたび合意しました。

農業改良普及課は、今後もPT活動を軸にJAや市等の関係機関と連携し、土佐市地域の農福連携の活動に取り組んでいきます。

技術向上で需要減に負けない！

～土佐市『吟の夢』栽培技術研究会が反省会を開催～



実証ほの結果を熱心に協議

2月26日、土佐市吟の夢栽培技術研究会が中央西農業振興センターで反省会を開催し、生産者8名（うち生産者兼酒造会社1名）と土佐市農林業振興課職員2名が参加しました。

酒米品評会での分析結果や農業改良普及課が設置した実証ほの成績などについて検討しました。参加者からは品質向上対策や実証ほの結果などについて多数の質問や意見が出されました。

酒米については、需要の減退もありさらなる生産性向上が求められています。農業改良普及課から新たな知見を提示することによって、生産意欲向上に向けた機運を高めることができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して情報提供を行いながら、土佐市の酒米栽培を支援していきます。

イタドリ栽培で耕作放棄地解消と収益向上を目指して！

～集落活動センター柳野でイタドリ実証ほ設置作業を実施～



施肥・畝たて作業の様子

2月24日と3月4日、いの町の集落活動センター柳野において、令和3年度に計画しているイタドリ栽培に係る実証ほ等の施肥・畝たてと定植作業を行いました。作業は、同センターイタドリ班が主導し、農業改良普及課は肥培管理指導と今後の作業確認を行いました。参加者からは、「新植ほ場なので除草の徹底が重要であることを再認識した」と意見が出ました。

農業改良普及課は、今後もイタドリ班と連携し、イタドリ栽培技術の定着と増収を目指して支援していきます。